

第3回仙台市GIGAスクール推進協議会 御意見に対する考え方

1 報告事項(1)「第2回仙台市GIGAスクール推進協議会」の議事録および意見への考え方について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方	関連資料
1	端末の活用率について	端末活用率について、改善されたのかということを見る必要がある。教育委員会が行った支援が、有効に機能したかどうかという検証ができるので、確認を進めていただきたい。	今年度は2月頃に端末活用や持ち帰りに関する調査を実施する予定です。	資料4 スライド2
2	ICT支援員の取組について	ICT支援員による事例集の内容について、支援員の活動や仕事の具体や校内での活躍ぶりが分かるような情報発信もすると良い。	委託業者と協議し、次回以降はICT支援員の支援の概要も伝えられるような内容にしていくこととしました。完成後は、仙台市GIGAスクールサポートサイトに掲載し、各校へ周知いたします。	資料4 スライド8

2 報告事項(2) 各部会の取組について

①教育の情報化推進部会について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方	関連資料
3	ネットワークに関して	既に教育委員会で、どのくらいネットワークの帯域を使っているか把握していると思うが、その上で学習に支障の出ないよう必要な対策をとっていただきたい。	現在、回線事業者と原因と改善策を検討中です。早急に対応できるようにしてまいります。	資料5-2 第5章 基本方針3 (1)①
4	情報活用能力の年間指導計画	学校の実情に応じた情報活用能力の年間指導計画を教科横断で作成することについて、「教育の情報化研究委員会」の事例を各学校に紹介しながら、市全体で取り組めると良い。	2月に実施予定の教育センター研究発表会において、オンデマンド事例発表の予定です。教育センターのHPにも資料を掲載します。	資料4 スライド4
5	教室の提示装置について	現在小中学校に配備されている提示装置の耐用年数及び使用年数に伴う機能の低下が気になっている。子供の健康面に悪影響が出ないよう確認していただきたい。	小学校の大型提示装置は、整備後長期間使用しているものが多くあることから、入替について懸案事項として認識しており、教育予算を勘案しながら、入替に向け検討をしてまいります。	資料5-2 第5章 基本方針3 (1)①
6	データ活用	現在利用している学習支援ソフトでは、学習データの収集や分析ができていない。データ活用をどのようにするのか、ツールの開発、授業の開発も含めて、今後取り組む必要がある。	どのようなデータを収集・整理・分析することが子供や教員にとって有効なのかを専門的知識を有する民間企業のノウハウを生かしながら検討を始めたところです。できるだけ早い時期に、会議体を組織して検討を進めていきたいと考えています。	資料4 スライド11

②家庭の情報モラル推進部会について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方	関連資料
7	情報セキュリティの取扱	情報セキュリティを考えると、心の問題だけでなく、知識や技術に対する理解、法律に対する理解に関しても情報活用力全体として育成を図る必要がある。そういった点も、啓発できるような進め方が良いと思う。	情報セキュリティについての知識を得て、自ら判断し、対処できる力や態度を身に付けることが求められており、次年度のリーフレットに記載する内容の重点の1つとして考えています。	資料3 2
8	学校での活用の工夫	学校において、リーフレットの使い方、家庭への伝え方など、特ここは見たいところを示し、積極的に使うための働きかけをすると良い。	今年度、リーフレット配布時に、教員向け活用例及び家庭向けにも概要と共に趣旨等をまとめ、各校へ通知しています。	資料3 1(2)③
9	学校での指導について	学校に周知する際、二次元コードから視聴できる教材に付随した文科省の指導用の手引き等もあることを知らせると、学校では、それを参照しながら授業を考えることができるので紹介して欲しい。	各学校への、指導用の手引き等の周知方法について今後検討してまいります。	—

3 協議事項

(1) 「(仮称) 仙台市学校教育情報化推進計画」最終案素案について

番号	項目	御意見	御意見に対する考え方	関連資料
10	教員研修の具体	ICTを活用することの研修や授業が、道具の使い方ばかりフォーカスした話にならないように、そもそも授業づくりや子供が主体的・協働的に学ぶ風土が育つ学級づくりなどもセットにして、ICTを活用すること、1人1台端末を活用することなどを考えられるような研修体系を作って欲しい。	令和5年度のICT関連研修では、1人1台端末の活用を前提として、学習を活性化させる方法を学ぶ研修を計画しています。教員が目的に応じて研修を選択できるよう、ICT活用指導の習熟に応じて、ツールの特性を授業に生かす研修内容となるよう整理していきます。	資料4 スライド8
11	教育データの利活用	教育データの利活用として、学習履歴だけではなく、生活面の履歴も吸い上げながら、多面的に、多層的に見ることができるようになると、今までよりももっと一人一人の子供の理解を深めることができる。簡単な話ではないので、早目に準備に取りかかり課題を整理して、方向性を定めていくことが大事だと思う。今後どのように考えていくのか知りたい。	どのようなデータを収集・整理・分析することが子供や教員にとって有効なのかを専門的知識を有する民間企業のノウハウを生かしながら検討を始めたところです。できるだけ早い時期に、会議体を組織して検討を進めていきたいと考えています。	資料4 スライド11
12	研修内容・状況の周知	教育センターでは、どのような研修を実施しているのか、先生方を応援するために、こんなプログラムがあるということがあるだけでも伝えていったら良い。	年度始めに研修一覧が冊子となって各学校に配付していますが、継続的に周知がなされるよう工夫する必要があると考えており、教育センター通信「かつこう」等で、研修の様子や予定等を定期的に通知しています。	資料6 p14
13	情報活用能力意識調査の結果から	中学校のプログラミングのC3・C4の観点が、非常に落ち込んでいる。技術・家庭科に限らず、どの教科でもプログラミングのアルゴリズムの考え方とか、図示化の方法について事例を提示していくことが必要。	各学校においてスキル育成のための取組のイメージを持つことができるように、プログラミング・STEAM教育推進校における実践事例を発信してまいります。	資料4 スライド5
14	体育館のネットワーク	体育館へのネットワーク構築はずっと話題になっている。優先度を上げて進めていただきたい。	校内から、LANケーブルを延長しても体育館のWi-Fi環境を整えることが困難な学校についてLTE通信のルータを配備する予算を確保できる見通しです。	資料5-2 第5章 基本方針3 (1)①
15	高等学校のICT環境について	普通教室だけでなく、特別教室でも同じようにICTを使った授業ができる環境が必要。さらに、教員のICTスキルを高める研修についても、専門性の高い高校の授業にマッチした内容も視野に入れて、充実をお願いしたい。	各学校のICT環境の更新時期に学校の要望を伺いながら、各教室のWi-Fi環境の改善を進めているところです。 また、研修については、今年度高校の1人1台環境を整備したことから、基礎的な研修を中心に行っておりましたが、今後は、教科の内容も視野に入れるなど、応用的な研修の実施に向けて検討を行ってまいります。	資料5-2 第5章 基本方針3 (1)① 資料6 p15
16	市民への周知について	GIGAスクールの取組が具体的な姿として理解してもらえるような掲載内容の改善、及びGIGAスクールサポートサイトの掲載情報がどの程度伝わっているのか、どんな伝え方ならばより伝わるのか等、今後進めていただきたい。	保護者のニーズも捉えながら、ウェブサイトの形がどのようなものであればよいのか検討し、改善に努めてまいります。	資料5-2 第5章 基本方針4 (2)④